年間授業計画 新様式

高等学校 令和8年度（2学年用）教科　公民　科目 公共

教　科：公民　科　目：公共　単位数：2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　E　組

教科担当者：（A組：　）（　組：　）（C組：　）（D組：　）（E組：　）（　組：　）

使用教科書：（『公共』東京書籍　）

教科　公民　の目標：

【知　識　及　び　技　能】現代社会の特色と世界の現状に関して理解し、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】現代社会における問題を多面的・多角的に考察し課題解決に向けて考える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】現代社会の課題を主体的に解決しようとする態度を養い、自他国の文化を尊重する大切さの自覚を深める。

科目　公共　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代社会の特色と世界の現状に関して理解し、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に付ける。	・諸資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 ・諸資料を比較し、その資料が持つデータの活用方法を考えることが出来る。	・諸史資料から現代の人々の生活に共感し、自分たちとの違いや共通点を探すことが出来る。 ・粘り強く学習に取り組み、資料から必要な情報を読み取ろうとすることが出来る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	青年期の意義と社会参画	青年期における発達段階の特徴を理解し，青年期の課題への適切な対応について考察する。 悩みと向き合うことの重要性について認識し，悩みを解決する適切な方法について理解する。	【知識・技能】 ・私たちの生きる現代社会について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・青年期について理解し、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・青年期における様々な課題を理解しその解決方法を探すことが出来る。また、社会参画への道を探すことが出来る。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	基本的人権と日本国憲法 国民主権と政治参加	近代立憲主義を，国家，国民主権，基本的人権と権力分立，法の支配の考え方から理解する。 日本国憲法における三大原理を確認し，民主社会の実現に向けた取り組みについて理解する。 国民主権の原理に基づく議会制民主主義の方法や権力分立のあり方について理解する。	【知識・技能】 ・近代立憲主義の原理と広がりについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・日本国憲法の原理や特徴を理解し、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本国憲法に規定されている様々な人権について理解するとともに、新しい人権についても考えることができる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2学期	法の意義と司法参加 民主社会と政治参加	社会規範と法や私たちの生活と法との関わりについて理解する。また、司法参加についても理解する。 民主社会と政治参加について理解する。	【知識・技能】 ・法の意義と司法参加について理解することができる。また、民主社会と政治参加について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・諸史資料から抜き出したデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・司法権や司法参加、行政権や自分たちの政治参加について意義や問題点を探すことが出来る。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	市場経済のしくみ 企業からみた経済 福祉社会をめざして	市場経済の考え方を通して，経済の循環や価格の決まり方について理解する。 企業活動の目的や株式会社のしくみを理解し，企業の社会的責任を確認する。日本の財政の現状を確認し，財政の現状と課題，税制のあり方について考察する。 消費者の立場や権利を確認し，消費者を守るしくみと課題について考察する。 社会保障の考え方と日本の社会保障制度を理解し，現状と課題について考察する。 日本経済における中小企業や農業の状況を確認し，その課題について考察する。	【知識・技能】 ・経済とその考え方、市場経済の仕組みについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・企業の目的と役割や金融の役割について資料を活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・豊かな社会の実現に向けて、現代社会の現状理解と問題点を探すことが出来る。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3学期	持続可能な社会の実現に向けて	現代社会の課題を確認し，持続可能な社会を形成するための取り組みを考察する。	【知識・技能】 ・地球環境問題について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・地球環境問題や資源エネルギー問題に関するデータを活用して、自らの考えを論理的に形成し、他者に多様な方法で伝えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球環境問題や資源エネルギー問題・生命科学と情報技術の課題を探すことが出来る。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1 合計 70